

おおつ環境フォーラムホームページ <http://eco-otsu.sakura.ne.jp/xoops/>
 大津のかんきょう宝箱(大津市ホームページ) <http://www5.city.otsu.shiga.jp/kankyou/top.asp>

地域における環境保全の取組み ～KESC=企業・学校・地域全体での取組み事例～

特定非営利活動法人KES環境機構 専務理事 津村昭夫

「Think Globally, Act Locally (地球規模で考え、地域から行動を)」、このセオリーを実践して環境改善活動に取り組んでいる京都における事例を報告いたします。

京都府内におけるKES(下記[参考]欄参照) 審査登録組織は1600件以上あり、このうち京都市教育委員会と協働し、市立の全小中学校約240校もKESに取組まれています。そこで「京(みやこ)のアジェンダ21フォーラム」では事業の一環として、このネットワークを活かし、KESを取組まれている「企業」、その地域の「学校」と「保護者=地域住民」のトライアングルを“環境”というキーワードで「地域環境コミュニティ」を構築し、地域一帯で環境改善活動の取組みを進めています。これをKESC(KESを媒体とした「地域環境コミュニティ」と言い、=「C」はCSR(企業の社会的責任)とCommunityのイニシャルです)。

具体的には、KESの審査登録企業が地域の学校に出向いて「環境の出前授業」を実施したり、学校の環境教育に協力して児童・生徒とともに地域住民も「工場見学」の受け入れを行うなど環境学習を主導することで、それぞれに次のようなメリットが生まれます。

- 企業：「環境の出前授業」はCSRの実践になるとともに自社の環境活動を充実させる動機づけになる。また「工場見学」を受け入れることは企業のリスクコミュニケーション対策としても有効である。
 このような日常的なコミュニケーションの中から、児童・生徒、地域住民との信頼関係が深くなり、また優秀な人材を育成することにより将来的に地元の優秀な労働力を確保する期待も生まれる。
- 学校(児童・生徒)：「環境出前授業」や「工場見学」によって「活かした環境教育」が修得できる。特に「工場見学」によって「労働」への関心が高まり、さらに「働く」ことの大切さが理解でき、健全な人格の育成にもつながる。
- 地域住民：地元企業(環境学習を受けた子供たちを含む)から幅広い環境知識や情報が得られることにより、環境対策の遅れが指摘されている民生部門での環境取組みの動機づけになる。さらに地域企業とのコミュニケーションが進行する中で、地元企業の商品購入や、児童・生徒の親として子供たちが将来地元企業へ就職できる期待も生まれる。(地元企業の商品や労働力の“地産地消”につながる。)

[参考] KES (Kyoto Environmental management Systems)

KESは、①取組みやすく②低コストで環境改善活動に参画でき、さらに③「環境経営」や④社会(地域)貢献につながる、等の特徴を備えた中小企業にマッチングした環境マネジメントシステムとして、2001年4月に「京のアジェンダ21フォーラム」からスタートし、2007年4月「NPO法人・KES環境機構」に活動が継続されています。なおKESは、



目次

1. 地域における環境保全の取組み～KESC=企業・学校・地域全体での取組の事例～ 特定非営利活動法人 KES 環境機構 専務理事 津村 昭夫	1
2. 生物多様性から人の生き方の多様性を考える NPO 法人おおつ環境フォーラム理事 三田村 緒佐武	2
3. 「温対センター」準備チームが出来ました。 NPO 法人おおつ環境フォーラム副理事長 本多 登美子	3
4. 自然家族事業について	3
5. プロジェクト等の活動報告と活動予定	4
6. 環境マネジメントシステムからのお知らせ 2014年度1～3月 KES登録を継続された事業者	4
7. 編集後記	4

2014年3月末現在で、全国で審査登録件数は4300件を超え、協働機関（KESと協働活動される地域組織＝滋賀県の「おおつ環境フォーラム」はKES協働機関第一号として2002年に契約締結）は22機関となり、その取組み成果として一社当たりCO₂削減量は約10t/年また、環境負荷低減活動の結果大幅なコストダウンを達成された、等の事例が多くあります。

「生物多様性から人の生き方の多様性を考える」

NPO 法人おおつ環境フォーラム理事 三田村 緒佐武

世界一の透明度を誇った摩周湖に生育・生息する水生生物種は、琵琶湖に比べるときわめて少ない。世界遺産に指定されている奈良・春日山照葉樹林はすばらしい原始林景観を留め多様性が高いが、原始林で覆われた熱帯雨林帯における多様性に比べると著しく低い。いいかえれば、砂漠には砂漠における生物多様性があり、熱帯雨林には熱帯雨林に適切な生物種の多様性がある。これを、植物園や動物園には生物多様性があるなどと錯覚してしまうと、生物多様性の基本を誤解して環境認識と環境理念に基づく私たちの環境活動を誤ってしまう。すなわち、「場（環境）に適切な種数と生物量が健全に生育・生息しているか」が生物多様性の判断基準になる。健全であれば、生態系（生物を介する物質の循環とエネルギーの流れの系）も健全で、その系はある程度持続可能であるといえる。

自然現象による天変地異や生物種間の生存淘汰などによる生物種の変動は、ある環境にはしかるべき生物種と生態系が存在し多様性があるといえる。しかし、人間活動が自然を搾取して生物多様性が損なわれた場合は、生物多様性が劣化したと判断したい。琵琶湖流域で話題に上がる琵琶湖の人工湖岸化と水陸移行帯のヨシ群落の減少や、河川改修による河床の三面張りに伴う水生生物種の変化などは、生物多様性が劣化した例である。そして、自然生態系を改変した農業・林業のための田畑や山林なども単純な生態系であり多様性は低いといえる。

1992年ブラジル・リオデジャネイロで開催された国連環境開発会議（通称、地球サミット）において採択された「生物多様性条約」によると、『生物多様性』とは、「陸域と水域生態系における生物間、およびそれらの生物を成員とする生態学的複合体間の変異性を意味して、これには種内と種間さらに生態系の多様性を含む」と定義して、①遺伝子の多様性：遺伝子にはまれに突然変異が生じるが、その遺伝子が生物個体の適応度を低下させないで次世代に引継がれるならば、その種の集団内に保存され、その種の「遺伝的多様性」の増加に貢献する。②種多様性：生物進化に伴う種分化により「種の多様性」は増大し、逆に絶滅により減少する。多様な形質形態を示す膨大な種の数が生息していることと考えてもよい。③生態系多様性：異なる環境には異なる種の組み合わせからなる生態系が成立して「生態系の多様性」を生み出す。の3つのレベルがあるとしている。

一般に私たちが生物多様性の文言からうけるイメージは、上記の「種多様性」であろう。ここで、人間を生物の一員であるという見方から切り離して、人間の立場と生物（自然）の立場から生物多様性を考えてみる。琵琶湖の鯉料理（鯉のあらい、煮付け、鯉こく等）は、私の好物であるが、欧州では食用としないためか鯉を侵略的外来種に指定している。日本の特定外来生物に指定されているブラックバスも琵琶湖の外来魚問題ではきわめて評判が悪いが、当初、持ち込んだ湖では繁殖できなかったという。魚類にとっては迷惑な話である。さらに、人の健康を阻害する害虫、細菌、ウイルスは多様性の一員として認めなくてよいかは、私には解らない。しかし、少なくとも途上国の多くの人々が、高価な対害虫薬品、対細菌抗生物質、対ウイルスワクチンを手に入れることができず、命を落としている現状があることも理解しておかなければならない。

生物多様性を研究している研究者は、生きものが多様であればあるほど地球生態系は豊かで、持続可能性社会が続くことを頭脳では理解している。しかし、彼らの多くは人の生き方の多様性を認めたいようだ。生き方が異なる人がいて、その人々から学ぶことが、人類の平和的持続可能社会を構築できると考えたい。本稿を脱稿するに当たって、「生物多様性から人の生き方の多様性を考える」を心に刻みたい。

今になって、生物多様性の維持が、人類が掲げるべき新たな目標であると発現することが気になる。山川草木と共生した先住民は、多様性を維持することが、子孫を永らえる基本であることを生活の中で理解した。私たち、おおつ環境フォーラムの会員は、生物多様性の理念を先住民の歴史の中で醸成させてきた智慧から学びたい。



ヨシ帯は生物多様性（いのちの賑わい）の宝庫

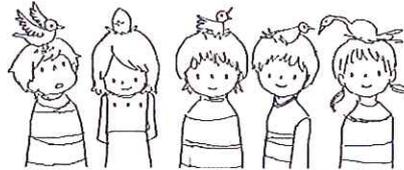
「温対センター」準備チームができました、あなたも参加しませんか

事務局

地球温暖化防止活動推進センター（略称：温対センター）の指定を受けるための準備チーム（家城弘和リーダー）をスタートさせました。

大津市では、法律に基づき地域の温対センターの指定を検討しておられます。

当フォーラムは「アジェンダ 21 おおつ」を実現するために行政とのパートナーシップ組織として設立された経緯があり、市の指定が行われる場合、その受け皿になれるよう準備を始めることとなりました。これまでの当フォーラムの活動実績に加えて、温対センターに求められる活動内容の整理・必要な人材の確保等の準備を進めていきます。会員の皆様、ご関心のある方は事務局までお問い合わせください。



新たにスタートする自然家族事業について

NPO 法人おおつ環境フォーラム副理事長 本多 登美子

大津市では、「自然家族事業」を平成 19 年度から立ち上げられた。この事業は「カヌーで漕ぎ出せ！びわ湖のヨシ体験」や「家族で引いてみよう！びわ湖の地引網体験」、「にっこり、たっぷり、家族と一緒に遊ぼう」等、子どもたちとその家族が自然体験を中心に親子・家族のふれあいやつながりを深めながら自然の中での環境教育の充実を期待する事業である。

NPO 法人おおつ環境フォーラムでは、平成 26 年度の経営方針の一つとして、「子どもや親子」に焦点を当てた取り組みを考えていたので予算を付けてもらえないかと大津市環境政策課と話し合ったところ、「自然家族事業の南部版」として新規事業を立ち上げることができ、4 月中には委託契約を結ぶこととなった。

3 月 16 日には、自然家族事業実行チーム第 1 回会議を開催し、体験講座の開設に向けて準備に入った。「湖の日」、「川の日」、「里の日」、「山の日」の 4 つの柱に 6 つの講座を企画した。

①「湖の日」

*琵琶湖南湖の水質や生きもの調べ（子どもが遊べる川づくり PJ）8/9（土）

*水鳥の観察（ビオトープ PJ）1/18（日）

②「川の日」

*瀬田シジミ漁体験（いきいき河川 PJ）10/18（土）

③里の日

*親子でサツマイモづくり春・秋（生ごみリサイクル PJ）5/24（土）、10/25（土）

④山の日

*里山体験・木工体験（里山 PJ）11/1（土）

自然家族事業は今年度初めての取り組みでもあり、「おおつ市民環境塾 2014」とは一味違う講座にできたらとチーム委員一同で準備を進めている。



自然に学び、自然を楽しむ「里の日」参加者を募集します！

家族みんなでさつまいもを植えて、育てて、収穫しましょう。

① 5 月 24 日（土）予備日 25 日（日）：さつまいもの苗植え付け

② 10 月 25 日（土）予備日 26 日（日）：さつまいもの収穫

場 所 大將軍 2 丁目 山田（JR 瀬田駅から近江バス「国道狼川」下車徒歩 15 分）

対 象 両方の日程に参加できる市内在住の幼児（4 歳以上）又は小学生を含む家族

定 員 10 組 30 人程度（申込多数のときは抽選）

参加費 無料

申込：電話又は FAX（南部版里の日参加希望、郵便番号、住所、電話番号、参加者全員の氏名（ふりがな）・性別・年齢・学年を書いて、5 月 19 日（月）までにお申込ください。）



おおつ市民環境塾2014

今年度も大津市委託事業として「おおつ市民環境塾2014」を開催します。

おおつ市民環境塾実行チームを立ち上げ、フォーラムのプロジェクト等が日常的に進めている活動の成果を活用し、多くの方に地球環境問題を考え、体験する場を提供できるよう協議を進めています。

講座開催期間は7月から2月の予定。生物多様性保全、地球温暖化防止などをテーマに、楽しく分かりやすい講座を目指します。

多くみなさまのご参加をお願いします。



プロジェクト等の活動報告と活動予定

子どもが遊べる川づくりプロジェクト

5月19日(月)9:00~10:30 晴嵐小学校4年生総合的な学習支援(第1回・三田川中流)

5月27日(火)9:30~11:00 晴嵐小学校4年生の総合的な学習支援(第2回・三田川上流)

子どもが遊べる川づくりプロジェクト・いきいき河川プロジェクト

5月11日(日)10:00~12:00 三田川水辺の楽校活動

・基地の整備 ・今後の活動の打ち合わせ

環境マネジメントシステムプロジェクト

5月15日(木)14:00~17:00 KES無料相談会 場所:明日都浜大津こどもエコ・ラボ

KESはやさしく取り組める、中小事業所向け環境マネジメントシステムです。環境取組で、コスト削減をはかり、儲かる会社への革新をめざしませんか!!

ご相談は定例会以外でも受け付けます。あらかじめ事務局(077-528-2020)までお申込ください。

フォーカスグループ

5月27日(火)13:30~15:30 定例会議 場所:明日都浜大津こどもエコ・ラボ

環境塾2014講座「台所からの省エネ」推進スタッフ会議

5月12日(月)10:00~12:00 場所:明日都浜大津こどもエコ・ラボ

環境マネジメントシステムからのお知らせ

2014年1月~3月 KES登録、KES登録を継続された事業者紹介(順不同) 担当:宇津 弦次

- ・(株)アサヒテックコーポレーション機電製造部(製造業)
- ・(有)奥田組(建設業) ・大津製函(株)(製造業)
- ・(株)互信工業(建設業)
- ・ツジコー(株)(製造業) ・寿木材工業(株)(製造業)
- ・(株)濱中製作所(製造業) ・東西化学産業(株)グループ(製造業)
- ・公益財団法人大津市公園緑地協会(公益法人)

以上9事業者



<編集後記>

桜も終わりに近づく季節になりました。

春は新しいスタートの時、私たちNPO法人おおつ環境フォーラムもNPOという新しい組織でのスタートを順調にしていききたいと思います。

いま、私たちが何をしなければならないのかを考えながら、問われていることをしていききたいと思います。会員の皆様、頑張ってください。

発行: NPO 法人おおつ環境フォーラム
事務局: 環境学習情報室(こどもエコ・ラボ)
編集責任: 中井 正子
発行場所: 〒520-0047 大津市浜大津四丁目
1-1 明日都浜大津4F
Tel: 077-528-2020 Fax: 077-527-8687
E-mail: otsu-forum@axel.ocn.ne.jp
<http://www.eco-otsu.sakura.ne.jp/xoops/>